

光市医師会報

平成9年5月号

No. 295



杜鵑花苑

光市医師会

〈特別寄稿〉

「かわいい子には、旅をさせ」

光市教育委員会教育長 堀川昌典

今年一月も末になったある日、夕食後のテレビニュースで1995年度問題行動白書の中で登校拒否の状況が報道されていた。

白書によると、登校拒否は「学校嫌い」が理由で年度中に50日以上欠席した小中学生は約6万7千人で前年度より約3千2百人の増となり、調査史上最多を記録したということであった。今、光市でも最重要課題として取り組んでいる問題であるので、すぐメモしておいた。

登校拒否は、学校・家庭・社会のさまざまな要因が複雑に絡み合って起きる心因的的症状であるといわれているが、その傾向として情緒混乱型や無気力型が増加しているという。当事者にはそれぞれ事情もあることであろうが親も子も、教師もまた心の痛む問題である。

このニュースは、私にふとわが家の子育ての一コマを思い出させてくれた。私事で真に恐縮ながらそのことを述べてみたい。

わが家は、娘と五才年下の息子の二人の子に恵まれた。末っ子の一人息子は、小さい時から割と元気な子であったが小学校時代から机について勉強するのが苦手で、本ならマンガのページでも開いたことがなかった。学校で出される宿題は、家でやって行かねばならないものだと分ったのは小学校四年生だったというから子も親も天下泰平であった。性格は内弁慶の外すぼりで気が小さい。これ以上は息子も誇りもあるので



公表を憚るが、親の目から見て、学校が楽しいと思える要素は殆ど見当たらない子であったように思う。

そんな息子が、やっとの思いで高校に合格し、高一の夏休みに入って唐突に一週間九州にサイクリングに行かせて欲しいと母親を通して許可を求めてきた。

実は、この計画は中学校時代からの本人の夢であったが、その時は中学生という心身の発達状況や進学準備を理由に我慢をさせ、高校に入学してからのことだと計画の延引策を講じておいたのである。だから高校に進んだ今、前言撤回という二枚舌は親父の権威にかけて使えないので周囲の強い反対を押し切って許可する羽目になった次第である。

この奇抜な計画を最後まで同意してくれなかったのは祖父で「こんなに危険な交通事情に加えて見知らぬ他県の不案内の地で一人しかいない子に万一のことがあったらどうするのか」とかなり激しく私は責めら

れたものであった。

当時、すでに連日のように悲惨な交通事故等が新聞紙上をにぎやわわっていた。そのような世情の中での長期のサイクリングの決行は、決して楽観視できることではなかっただけに不安がないわけではなかった。ただわが子が、初めて自分で立てた計画に賭けてみようが無理矢理自分に言い聞かせたというのが本音のところである。

そんな家庭状況の中で子供は出発し、まんじりともできない長い一週間が過ぎた。そして真夏の太陽の下で目的を果たした真黒に日焼けした姿に会った時は、わが子ながら一段と男らしくなったなという感じを深めたものであった。

高二では四国走破をやり遂げたが、この二つの旅をさせてみて私は本当によかったと思っている。

それは家や学校ではとても経験できない、教えてもらえないことを多く学んできた。

まず、初めて自分で計画したことを自力で成し遂げたよろこび、自信、充実感。異郷にあって遭遇した不如意に耐えて克服したこと、わが家のありがたさ、風土や習慣のちがひ、見知らぬ地で受けた人の情のあたたかさ、そして自分も旅人には親切でありたいという心情に至ったこと等、沢山の貴重なお土産を持って帰ってくれた。

私の座右の名言の中に「教育とは人間という運命への人間の挑戦である。」という言葉がある。人がこの世に生をうけるに際して、裕福な家に生まれるか貧しい家の子として歩み始めるのか、あるいは病弱で人生を始めるのかは誰も分らない、どうしようもないことで、その人が持つ運命としか言

いようがない。この運命に対して挑み、夢や希望をもって挫けることなくたくましく一度しかない人生の中でわが命を輝やかす人間に育てていくことが教育であるという意味であろう。

私は、子供がサイクリングで得た貴重な体験を生涯の宝物として今後の自分の運命に挑戦して欲しいと親馬鹿の願いをふくらめたものである。

今、あの時、旅の計画をやめさせていたら彼はどんな成長をしているだろうかと思うことがある。

「かわいい子には旅をさせ」という諺の真意に少し触れたように思う。

サイクリングに出かけた高校生の息子はその後登校拒否もなく成長し現在33才。やさしいよき伴侶を得て二人の子の父親であり、外では小学校の教師となっている。彼はいつの日か孫たちに自分の成長の一コマを自信を持って自己体験を語って聞かせる時もくるであろう。又担任の学級の子供たちに、夢や希望を育む授業で自らを教材にして訓話をする場もあるであろう。

子育ては、最終的にはわが子の自立を目指して行なわれるものだと思う。清純・素朴で多感な少年時代に、一人歩きの旅をさせたこと。このことだけが“育てた”という実感が大きく残っている。

しかし、思い出すたびに五体満足で元気で帰ってきてくれた真黒けの姿が今でも鮮やかに焼きついている。

終りに、光市医師会の会報誌に私の雑感を寄せる機会をいただいた吉村先生の御好意に深甚なる感謝を捧げ拙稿を置きたい。

〈会員広場〉

よく学びよく遊べ

高橋 秀 児

始めの3/4は小生の備忘録の学べ編、残り1/4（*印）が遊べ編です。

日本糖尿病眼学会、会員数は現在673人、眼科医が488人、内科医が132人、その他は法人やコメディカルです。10字で表現すればDMの眼合併症の学会です。とは言っても角膜炎、虹彩炎、白内障、視神経炎、眼筋麻痺など沢山あるわけですが、やはり糖尿病網膜症（以前は糖尿病性網膜症）の基礎と臨床が中心の専門部会です。臨床はDMの内科的コントロールと網膜症、薬物療法、レーザー光凝固、増殖網膜症に対する硝子体手術に関して、基礎は御多分に漏れず遺伝因子、サイトカイン、微小循環・・・。

昨年（第2回）は大阪に約900人が集いました。河盛隆造教授（順天堂大代謝内分泌学）が『糖尿病網膜症に及ぼす厳格な血糖管理の功罪』と題されて特別講演をされました。その要旨（抄録）：多くの臨床成績から網膜症は未発症あるいは軽症時には、血糖管理の速度と網膜症改善率・増悪率には関係がない、更に網膜症既進展例では血糖管理状況およびその速度に無関係に網膜症が変動していることを示している。一般診療の場で、患者の血糖管理状況を詳細に把握できること、より厳格な血糖制御を維持する数多くの手段を手に行っていることから、糖尿病発症後早期より緻密な管理が実践されるべきである。

講演中、治療法に関してはnormoglycemia at all timesと強化インスリン療法が頻繁に出て来ました。従来より急速な血糖値の正常化は医原性ともいえる網膜症の進展をもたらすと言われてきましたし、増殖網膜症を少なからず経験しました。未治療の患者の場合は血糖値やHbA_{1c}を指標に急速ではなく徐々に正常化するのが望ましいと考えられていました。ですから河盛教授の講演は多くの眼科医にとってはショックでした。網膜症の統計処理にも問題があったのではと示唆されました。

さて第3回の今年は3月14日～16日、博多のアクロス福岡で開催されました。内科側よりの演題の一部を列記しますと

- ・糖尿病網膜症と血清リポ蛋白(a)および凝固線溶系との関係について
 - ・糖尿病網膜におけるDAG-PKC pathwayの活性化とビタミンE
 - ・ALDH (aldehyde dehydrogenase) 2 遺伝型と糖尿病網膜症との関係
 - ・糖尿病網膜症患者の房水および硝子体における細胞接着分子
 - ・Phlorizinによる高グルコース条件下網膜周皮細胞の細胞内浮腫抑制の効果
 - ・糖尿病専門診療所からの眼科との医療連携の試み
- また新薬のインスリン抵抗性改善剤への期待の話もありました。

シンポジウムの1つは糖尿病網膜症とサ



(グランドハイアットから那珂川、天神方面を望む)

イトカイン。失明にも繋がる増殖網膜症は微小血管の透過性亢進、内腔閉塞、血管新生より成立していく。この過程にVEGF (vascular endothelial growth factor)、VPF (vascular permeability factor)、TGF (Transforming growth factor) - β 他の種々のサイトカインが深く関わっている。これらに対する阻害薬に全身副作用がなければ、臨床応用が可能となり、少なくとも失明に至る網膜症は発現しなくなるはずです。眼球内に機器を挿入して顕微鏡下での慎重な操作を必要とする硝子体手術（正式には網膜付着組織を含む硝子体茎頭微鏡下離断術）も将来は必要なくなるはずです。

*今回の宿泊はキャナルシティ内のグランドハイアットホテル。ワシントンホテルも隣接しています。シティは構想16年、事業費約800億をかけて昨年4月に鐘紡の紡績工場跡にオープン。この季節は21時までシティ内の店舗は開いていますので、探訪して来ました。大型書店、T-zone (パソコン)、電器、スポーツ用品、雑貨、アパレル、セガのハイテクテーマパーク、ワーナーブラザーズスタジオストア、L. L. Bean、無印良品、劇場 (劇団四季によるエピータ



(天神中央公園からのアクロス福岡)

が公演中)、13の映画上映、飲食・喫茶から献血まで出来る専門用語でいうところの大型複合施設です。日本初、元会員制を謳った『一蘭』でピリカラスープと細麺を食べてみるのもいいでしょう (ラーメン¥650、チャーシュー追加¥150、替玉¥150)。ホテルには日本料理のなだ万も入っています。歓楽街中洲までは徒歩3分。天神にある学会場のアクロスまで徒歩10分。まさしく良く学び、良く遊べには持って来いの環境です。

来年は済生会中央病院の松岡健平氏を会長に虎の門ホール (国立教育会館) で行われます。 (1997. 4. 14記)



(那珂川からキャナルシティを望む)

新入会員紹介

村田 雅子

ひかり皮フ科クリニック



昭和61年に北里大学医学部を卒業後、北里大学、山口大学の大学病院に5年、山口赤十字病院に5年勤務しました。次女を出産したのを契機に退職して念願の皮膚科の診療所を開設いたしました。

北里大学、山口大学では真菌外来を担当していました。真菌の培養同定は植物学者に似た楽しい仕事です。“どうも水虫が治らない”などと連絡を受けるとハイハイと外来に行き角層をもらって寒天培地にうえます。ほとんどが *Tr.rubrum* であり皮疹の炎症が強いと *Tr.mentagrophytes* という場合もあります。菌を一定の周期で培地から培地に移し替えていくとあたかも花の交配のように似通った姿ながら少しずつ菌の大小分生子の様子も変わってきます。その頃は独身でもあり珍しい菌がでるとハンドバックに忍ばせて他院の先生に教を仰ぎに行きアパートの部屋にもずらりと試験管がならんでいるという“菌と同棲状態でした。開業した際顕微鏡カメラとプリンターを購入、患者さんの足に同じように生き生きとした菌を見つけるとあのころの青春の同棲時代を思い密かに胸がときめきます。

こちらが熱心に“貴方の菌はこれです。うん、すくすくと育っている”などというものですから患者さんも皆身を乗り出しテレビに顔をくっつけるようにして見入り、菌の写真も喜んで持って帰っています。

山口赤十字病院に勤務するようになると培地が手に入らなくなりやむおえず真菌と手を切りアレルギーを専門に取り扱うようになりました。アトピー性皮膚炎の患者を始め様々なアレルギーの患者にパッチテスト、スクラッチパッチテスト、皮内テスト、スクラッチテスト、ブリックテストと全ての検査を行いました。

これらの検査の内科外科と違い化粧品をつまようじてすくって皮膚に貼るとうよなちまちまとした作業で成り立っています。諸先生方のような重々しい威厳に満ちた診療はできないものの日常のアレルギーを減らすべく化粧品、毛染め、ピアス、田靴、湿布などは低アレルギー商品を揃え検査結果に応じて指導できるようにしました。

私は父が下松市で内科（上村医院）を開業・兄が下松記念病院の内科勤務、と下松には縁があるものの光市にはほとんど行った事がなく心細い限りです。先輩諸先生方の暖かいご指導を宜しくお願いいたします。

プロフィール

本籍 広島市中区国泰寺町
 出身校 北里大学
 職歴 北里大学病院
 山口大学病院
 山口赤十字病院

竹 中 一 行

光市立病院内科



はじめまして、このたび4月より光市立病院の内科に赴任してきました竹中一行と申します。生まれ育ちは、山口県宇部市で、大学も山口大学です。医者になって研修医の10ヶ月を柳井の周東病院で研修し、その後山口大学にて勉強して、平成3年の時に半期間玖珂中央病院にて勤務した後、また大学病院にもどり勉強（動物実験が主でした）して、平成6年より3年間小倉記念病院で勤務しておりました。このため昔のことですがこの方面の地理は多少知ったところがあり懐かしく思っています。専門は肝臓で、前にいた小倉記念病院は消化器内科

医だけでも8名いて、その他に循環器、呼吸器、血液、内分泌と多くの医者がいました。このため肝臓の分野でも相談にのってもらえる先輩がいましたが、こちらでは自分一人なのでいろいろ皆様にご迷惑をお掛けすると思っておりますがよろしくお願いたします。

その他、趣味といえば、ドライブと音楽鑑賞とテニスを少々と、2年前から始めたゴルフです。ゴルフの腕はまだ発展段階で少し面白くなってきた頃です。スコアは115前後と、まだまだですが、皆様にご迷惑をかけると思っておりますがこちらの方でもよろしくお願いたします。

プロフィール

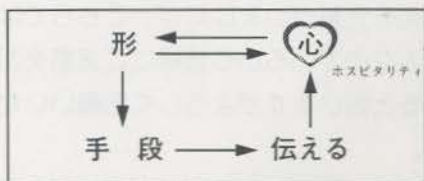
出身地 宇部市末広町
 出身校 山口大学
 職 歴 山口大学第1内科
 周東総合病院
 玖珂中央病院
 小倉記念病院

4 月 度 月 間 行 事

日	行 事	場 所
1	レントゲン勉強会(第17回)	医師会事務局
9	定 例 理 事 会	医師会事務局
11	心電図勉強会(第106回)	光商工会館
22	学術講演会、4月度例会	光商工会館

「接遇マナー」についてのアンケート調査結果

(接 遇)



(マナーの基本)

挨拶・表情・態度
身だしなみ・言葉遣い

(上記の表は前号の一部の再掲です)



(練習風景)

3月25日におこなわれました講演会の「医療スタッフ接遇マナーについて」に関して、講演会終了後、講師の依頼によるアンケート調査がおこなわれました。出席者の66名よりアンケートの返答をいただいております。その資料を借用しましたので、ご披露致します。

日常、接遇マナーについて思っておられる事、講演を聴かれてどのような印象を受けられたか、それを今後どのように活用されようと考えられるのが、皆様の参考になればと思い掲載致しました。これは意識調査と言った深い意味合いを含んでの掲載ではありませんので、ご承知置き下さい。

なお掲載にあたって、アンケートを提出された方々の了解を得ず掲載しました。ご了承いただき、お詫び申し上げます。

(吉村)

【会員】

●本日は有益なお話誠に有難うございました。接遇時の態度等反省させられる点が多くあるのに気付きました。今後改善する様

努力致します。

●お年寄りの人を呼ぶとき、話しかける時オーバーチャンと呼ぶのは不可と思います。きちりフルネーム・名前を呼ぶべきと存じますが。

●初めて、こういう講話を聞きました。とてもためになりそうで、これからも、こういう機会に参加したいと思います。

●接遇応待にはかなり特殊な訓練を必要とする様だ。小生のところでは全くその教育はなされていないと思う。是非機会があれば有償でお願いしたいと思います。

●大変参考になりました。今後実行するようにしましょう。

●1.相手の立場
2.目線を合わせて
いたわりの気持ちを忘れずにやっていきたいと思ひます。ありがとうございました。

●忙しいとき、つつっけんどんな応待と診察になりがちな点を反省したい。職員にもよく習慣づけたい。今後職員同志の和がはかれるような気くばりについても、お話しを伺いたたいと思ひます。

〔従業員〕

● 普段なにげなく患者さんと接しており、相手の立場や気持ちを考えることは、ほとんどなかったように思うので、今回の講演はとても勉強になりました。もう一度初心に戻り、患者さんがどのようなサービスを受けたいと考えているか、相手の立場に立つてものごとを考え、行動したいと思います。

● 毎日患者さんに接しており、「つい」という気になっていないか不安もあり、勉強になりました。希望も持てた様に思います。外来や健診の方のみなので、毎日色々な方と接し、お名前をお忘れすることも多く冷や汗の毎日でもあります。病気で来られる方々が主体ですので、明るさや楽しさを含んだ時間を多く持っていただける様に努めてみたいと思います。ご指導ありがとうございました。

● 今回はとてもいい事をたくさん教えていただきました。どの項目も印象深いです。私自身が一番大切な事を考え、PS運動のことを考えると“挨拶”と“笑顔”だと思います。これを大切に実行していこうと思います。

● 大変勉強になりました。

● しらずしらずに使っていることばが、色々な変化をし人に不快感をあたえていた事がよくわかりました。大変勉強になりました。

● あいさつの方法、ことば使い等、自分自身で気をつけていかなければいけない事が多く、反省させられました。今日の話を通して少しでも身につけてゆければと思います。また忘れないうちにお話しを聞ければよいと思います。

● 大変勉強になりました。少しでもよい看護が出来る様頑張りたいと思います。ありがとうございました。

● とても美しい話し方をされて、とても勉強になりました。少しずつ努力して行きたいと思います。

● 忙しいとついつい笑顔を忘れてしまうことがあるので、いつも優しい笑顔忘れずに仕事をしたいと思いました。電話のマナーは勉強になりました。ありがとうございました。

● 大変良いお話を聞かせていただき、ありがとうございました。今後の患者さんとの接遇の場面で生かしていきたいと思います。

● 接遇について初めてのお話でした。大変わかりやすく、きれいな声におどろきました。いつも思っているのですが実際には行動と言葉はついてまいりません。大変勉強になりました。

● ありがとうございました。明日から何言も基本に返えり、自分をみがくためにも、患者さんに好まれる看護婦になる様、今日の勉強をありがたく、思い出します。

● 今までいろいろなマナーについて勉強を自分なりにして来ました。心で思っただけでなかなか言葉にして相手に伝える事の大切さを教えていただき、ありがとうございました。電話の対応も相手が見えないので難しいですが、少しでも良い対応が出来る様に努力したいと思います。

● 日頃からなにげなく使っている言葉でも、相手にはとても印象に残るので、言葉づかいに気を付けて電話の対応をしたいと思います。

● 私の病院では、笑顔でいこうっという方針ですが、今日のことを思い出して、もっと笑顔をしていこうと思う。電話の対応で“表情が伝うこと”を気を付け対応したいと思う。

●日頃なにげなく使っている言葉けど、こうして考え直すと、とても難しいです。相手の気持ちになって…というのは気を付けていますが、なかなか出来ていないように思えます。でも笑顔だけは忘れずにしていこうと思います。勉強になりました。ありがとうございました。

●大変良い勉強をさせていただきました。少し自分に反省したいと思います。ありがとうございました。

●言葉（母音）をはっきりと相手の立場になってやさしく話しを致します。挨拶などクッション言葉を使います。患者さんに限らず、人からして欲しい事を人にして（心・気配り）あげたいと思う。

●言葉、一言一言の大切さがわかりました。自分で気づかないうちに、患者さんに不快感をあたえていたのではないかと不安です。

●患者様の立場にたって考える。いつも笑顔でやさしい心。

●笑顔で応待

●本日は大変良いお話しをありがとうございました。私は会社で従業員（殆んどが男性）の健康管理を主にした職場で働いておりますが、いろいろと反省することばかりでした。明日からはまた、気持ちを新たに人と接して行きたいと考えさせられました。本当にありがとうございました。機会があればまた、お話しを聞かせて下さい。

●患者さんに対しては、出来るだけ笑顔で接したいと思いましたが、今回改めて笑顔の大切さを知り、これから頑張りしたいと思います。職員の勤務中の私語が気になっていましたが、今日つつしむ様に話も聞き、皆が気をつけたいと思います。

●大変勉強になりました。明日から今の話の思い出して仕事したいと思っています。また勉強会を楽しみにしていますので、是非又やって下さい。お願いします。今日は有難うございました。

●明日からの仕事に明るい医院にして行きたいと思っております。

●接遇について自分でわかっているつもりでいるが、お話しを伺っていると、日常的な会話の中で患者さんに対して、失礼な言葉使いをしている部分もあるなあと感じました。これを機に、姿勢を正し、患者さんに対してよりよい態度で接し、安心して診療を受けられるように気をつけていこうと思います。電話の応対も目の前で接しているような気持ちで応対したいと思う。ありがとうございました。

●今日この会に参加出来て、とても勉強になりました。普段自分ではマナーについて気をつけているつもりでいたが、今日の勉強を通して改めてサービス業の難しさがわかり、患者さんに対して“心”を伝える態度、言葉の表現力、相手の立場に立っての思いやりの大切を感じました。明日からの仕事に対して今日学んだことを役立てたいと思います。

●普段いかに言葉づかいがなってないのかがよくわかりました。これからは電話に出る時には、もう少し気を付けて出ようと思います。患者さんに対しても、相手によく分かるように、はっきりと受け答えができるようになりたいと思います。態度についても、これから気を付けようと思います。

●今日はとても楽しかったです。私は病院で働き始めてまだ半年です。今まで学校で接遇についても学んできましたが、正直

言って、忘れていたことも沢山あったように思います。けど、今日又自分を見直す時間ができたことを大変うれしく思っています。「受付は病院の顔」であることを忘れず、つらい時も笑顔で対応できたら…と思います。そして、患者さんが毎日気持ちよく過ごせて、早く元気になられたらいいな…と思います。今日は本当にありがとうございました。

- 日ごろの反省になりました。忙しい時の対応に気を付けたいと思います。よい種がまける様、頑張っていきたいと思います。

- 忙しいとつい、口調が乱暴になりますが、気をつけなくてはと改めて思いました。

- 2度目の接遇でしたが、とてもよい時間をすごさせていただきました。「種まき…」の話が“なるほど”など明日からの仕事、その他にもいかせたらなと思いました。

- 今日は接客マナーのセミナーをありがとうございます。いつも自分の接客態度とか考えてなかったので見直すことを勉強できました。これからは笑顔と、やさしさで接客をしたいと思います。また、機会がありましたら参加したいと思います。ありがとうございました。

- 今日は大変良い話を聞かせていただき勉強になりました。私達が毎日せっている患者さんの事を気持ではわかっていても、なかなか実行にうつりません。今回の話を聞いて心にじんとききました。これからもこんな話を聞かせて下さい。明日から今日の話のように一生懸命がんばろうと思います。

- 接遇について大変勉強になりありがとうございました。患者の立場になって、思いやりや明るい態度で接する事の大切さが十分に理解できました。今までの自分の接遇を

思い浮かべてみると、その日の気分や相手の態度によって、接し方が違っていました。また、尊敬語はどの使い方にも十分気を付けたいと思いました。これからは、医院の看板を背負っている事を忘れず、今日学んだ事柄を生かして、笑顔を忘れず明るく接したいと思います。ありがとうございました。

- 患者さんへの対応や、電話対応の事について今まで特に勉強した事はありませんでしたが、今回講習を受けて、日頃何気なく使っている言葉や、している態度がいかにか患者さんや周囲の人に影響を与えているかがよく分かりました。今後はまずあいさつからひとつひとつ頑張ってみようと思います。

- “受付”が病院の顔である事がよくわかりました。忙しさを理由に、事務的になりがちだった自分を反省したいと思います。患者さんに対して“やさしい心”を持って接して行きたいと思いました。今日のセミナーで日々の中に色々な反省させられる事ばかりでした。

- いつもながら反省の時間でした。暇な時は、十分な対応ができると思うのですが、受付で何人の方が待たれ、電話もリンリン鳴る中、どのような（平静心で）対応をすればよいのが、悩みます。少々お持ち下さいも言い過ぎると、よくないように思いますし、患者さん方がもっとバラついて来ていただければ問題ないのですが…。パニックをおこしそうな時の対応を教えてくださいたい。結構若い人の方が、上手かもしれませんね。たのしい1時間30分でした。

- 大変ためになりました。明日から早速実行いたします。笑顔と親切を第一に患者さんに接していこうと思います。ありがとう

ございました。

● 接遇マナーについての講義を聞き、耳のいたいことが多くあるように思いました。自分の態度を振り返り、反省してみたいと思います。電話マナーについても、つい失礼なことが多くある様に思います。ありがとうございました。

● 忙しいとついつい笑顔も忘れ、言葉づかひもてきとうになってしまうので、気を付けていきたい。

● マナー接遇に関して、頭ではわかっているけど、その時に実行できないので、日ごろの心が大事だと改めて思いました。どんなに忙しい時も心を亡くさず、笑顔であいさつできるようにしたいと思います。

● いろいろと勉強になりました。特に電話の応対など日頃ちょっとしたまちがいをしていたことが分かりました。ありがとうございました。

● ふだん使っている言葉でも、宮村先生の笑顔と言葉づかひの勉強でとても楽しい気持になる事ができました。明日から応待に役立てたいと思います。ありがとうございました。

● 私語は止めます。

● 患者にとって、何が一番のサービスかという事を、よく考えて見たいと思います。よい治療を受けれることの上に成り立つサービスはどの様な事か？

● 大変良い勉強をさせていただきました。ありがとうございます。

● 電話のマナーを気をつけようと思いましたが、電話でもこちらの表情が伝わるとなと思いました。いつもうまくしゃべれなくてつまってしまうことがあるのですが、

あわてずおちついてしようと思いましたが、今日はありがとうございました。

● 今まで自分なりにお客様に気をつかいそれなりの接遇マナーが出来ていると思いましたが、今日、先生の話聞いて、反省する事が多く、明日からはあいさつ、電話の受けこたえに今一度気くばりをして、少しでも明るい感じの良いお客様に愛される病院となる様努力したいと思います。今日はほんとうにありがとうございました。

● 今日は大変勉強になりました。入社時に電話の受付マナーの勉強をしたことをあらためて思い出し、反省する事もいくつかありました。明日からの自分に生かして行きたいと思います。ありがとうございました。

● 大変参考になりました。明日、電話対応、受診者対応に役立たせていきたいと思えます。同じ従業員という意識がありましたが、今後気を付けて参ります。

● いつも患者さんに接する態度をふり返るいい勉強になりました。自分では、きついと思っていない言葉や態度、表現の仕方も実は不愉快に思っていた事もあったと反省しました。ありがとうございました。

● 今日の研修では、電話対応が勉強になりました。日頃意識したことはなかったけどあらためて研修をうけてみて対応というのは大変だということがわかりました。どんなに忙しくしても笑顔だけは忘れずに患者さんに接することが大切だと思いました。

● たいへん参考になりました。スタッフ一同で努力して、この様になりたいと思えます。ありがとうございました。

● 相手の立場になって、心して接していきたいと思えました。明日から、忙しさの中

で、心をこめて、頑張っていきます。ありがとうございました。

●今日の話を聞いて、今までの自分の態度や対応（TEL）を思い返ししながら自分の足りない部分を明日から接客に生かしていこうと思いました。とてもよい勉強になりました。ありがとうございました。

●日頃から接遇について気をつけているつもりでございましたが、改めてお話しを聞き

反省致しました。明日より今夜教えて頂いた事を基本にしてがんばります。ありがとうございました。

●電話対応を今後に生かそうと思う。患者さんと明るく接していこうと思う。

●とてもいいお話でした。はなしをききにきてよかったと思います。どうもありがとうございました。

4月定例理事会

日時：4月9日(火) 午後7時30分～

場所：医師会事務局

出席者：近藤、前田、河村、光武、
赤崎、藤原、松村、吉村

議題：

- 1) 医事紛争担当理事協議会の報告
(藤原理事)
- 2) 入会申込みについて (近藤会長)
新規入会について理事会での賛否採決の結果は下記の通り
賛成—6名、棄権—2名、欠席—1名
- 3) 新方式レセプトの販売について
(近藤会長)
光市医師会で印刷する(手書き用のみ)
3万枚印刷し、今迄の山福との料金との差額が15,000円あるため、その差額は医師会で負担する。
- 4) 平成9年度予算の策定
(近藤会長、前田副会長)
- 5) 生前叙勲の資格について (近藤会長)
現時点では光市医師会に該当者なし
- 6) その他

① 4月学術講演会の件(赤崎理事)

② 定時総会は、5月22日(木)の午後4時より、場所はホテル松原屋

学術講演会・4月度月例会

日時：4月22日(火) 午後7時～

場所：光商工会館

出席者：16名

講演会

〔1〕演題「消化管のIVR治療について」



講師 山口大学放射科 原 昭彦先生

〔2〕例会

(診療報酬明細書等の変更に伴ない、購入の変更に関して近藤会長の説明)
今迄診療報酬明細書等を光医師会は、下松医師会から購入していたのですが、3月の末になりまして下松医師会の方から、も

う光医師会の斡旋は止めるという通知がございまして、何故かという事を聞いたのですが、なかなかはっきりした事を申されませんが、釈然としないという事でございまして、致仕方ないという事で山福に頼みました所、光医師会は今迄実績が無い、取り引きが無いので急に言われても困るから、お断わりするという事を言われました。いくら言っても頑として応じないと言う事でございました。そこで仕方がありませんので、光医師会が中村印刷に頼みまして、独自に印刷を致しました。それでこの報酬明細書が一冊100枚綴りで、中村印刷で印刷致しますと350円かかります。山福の場合ですと一冊300円で売っておりますので、その差額の50円は光医師会で負担するという事に、先月の理事会で決めまして、山福と同じ300円で皆様にお分けしたいと思っております。それから、入院用の明細書と先程お見せしました請求書も、これも新しくなるわけでございますけれども、これは山福のものよりどうしても高くつきます。高くつくと言いまして一冊につき20円か30円のものでございますし、そう数ができませんので、これは実費でお願いしたいと思っております。もしそれでよろしいという事でございますれば、明日注文書をお返し致しますので、必要な方はご注文をお願いしたいと思います。なおこれは手書き用でございまして、レセコンをお使いの方は、それぞれの購入会社と相談なさっていただきたいと思っております。

心電図研究会 (第106回)

光市・下松医師会合同

日時：4月11日(金) 午後7時30分～

場所：光商工会館

講師：河野隆任先生

出席者：11名(光市医師会—10名)

症例：

- 1) 54才、♂、(主訴)胸部の息苦しさ、動悸、(診断)心膜炎から心房粗動
- 2) 70才、♂、(主訴)意識障害、(診断)CPKが6万と異常に高値を示した症例、ウイルス性筋炎(疑)
- 3) 87才、♂・82才、♀の夫婦、(主訴)発熱、易労感、(診断)ともにCPKの上昇、ウイルス感染症によるもの
- 4) 22才、♀、(主訴)易労感→気分不良→意識障害、(診断)急性薬物中毒

レントゲン勉強会 (第17回)

日時：4月1日(火) 午後7時～

場所：医師会事務局

講師：徳山中央病院 岡本安定先生

出席者：7名

- 岡本先生・会員の症例を岡本先生が解説された。

M R I 勉強会

日時：4月3日(火) 午後5時30分～

場所：光市立病院

講師：山口大学放射線科 本城和光先生

演題：「MRIの基本」

(ト) (ピ) (ツ) (ク) (ス)

光商工会議所創立50周年記念式典が4月18日にホテル松原屋においておこなわれ、光市医師会に特別功勞表彰が授与された。(他に3団体)

社団法人光市医師会 殿
 あなたは光商工会議所新館建設にあたりその事業の発展と地域経済の振興に力を尽くされた功績誠に顕著なものがあります
 よって創立五十周年にあたり心から感謝の意を表します
 平成九年四月十八日
 光商工会議所
 会頭 秋野正雄

感謝状

会 員 動 向

(入会)

良沢真奈美

梅田病院 小児科

戸田 千

梅田病院 産婦人科

(退会)

安永 徹

梅田病院 (3月31日)

ⅢⅢ あとがき ⅢⅢ

「さつき晴れ」と言える日が少ない今年の5月です。普賢祭りの14日もあいにくの天候でした。

4月29日に、つつじ祭りが「つつじ苑」でおこなわれ、表紙の写真の撮影をかねて眺めに行きましたが、少し盛りを過ぎておりました。今年は桜の開花も少し早かったように思いましたし、やや気候異常なのでしょうか。

5月5日には浅江神社で、しゃくなげ祭りが催され出掛けてみましたが、まだ花の数が少なく公園一面にという感じはありませんでした。「宮華宝」と命名されると報道されておりましたが、大変優雅な名前です、数年後には美しい公園になる事でしょう。これで光市には「冠梅園」「あじさい苑」「つつじ苑」そして「しゃくなげ苑」と花の名所が4カ所になりました。

今月号は光市教育長の堀川先生に特別に原稿を書いていただきました。高校生のご子息を、一人旅に出された時の、父親として、教育者として我が子に対して強くなって欲しいという願いと、危険におもむく不安との心の葛藤が文面ににじみ出ております。そして旅で大きな収穫を得て成長された喜びに感動し、心が洗われる思いが致します。子供さんをお持ちの従業員の皆さんにも是非読んでいただきたいと思います。堀川先生には、今後も機会が有りましたら、またお教え願いたいものです。有難うございました。(吉村)

新 員 会



光市医師会報 第100号 平成8年12月15日発行
本報は毎月15日発行され、光市医師会会報として発行されています。
内容は、光市医師会の活動、医療の進歩、患者の健康に関する情報などです。
ご購読の方には、光市医師会会報として発行されています。

光市医師会報 第100号 平成8年12月15日発行
本報は毎月15日発行され、光市医師会会報として発行されています。
内容は、光市医師会の活動、医療の進歩、患者の健康に関する情報などです。
ご購読の方には、光市医師会会報として発行されています。

光市医師会報 第100号 平成8年12月15日発行
本報は毎月15日発行され、光市医師会会報として発行されています。
内容は、光市医師会の活動、医療の進歩、患者の健康に関する情報などです。
ご購読の方には、光市医師会会報として発行されています。

光市医師会報 第100号 平成8年12月15日発行
本報は毎月15日発行され、光市医師会会報として発行されています。
内容は、光市医師会の活動、医療の進歩、患者の健康に関する情報などです。
ご購読の方には、光市医師会会報として発行されています。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	近藤龍一
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社